

新潟79回卒後25周年クラス会開催

平成27年11月8日（日）新潟79回卒のクラス会が新潟グランドホテルで開催されました。平成2年に卒業した私たちは、卒業10年目から5年に1度クラス会を行ってきました。天候にも恵まれましたが、待ちきれない同級生たちは前日に坂井 出 君のホームグラウンド、学校町通「わかさ家」に集合し、クラス会前夜を堪能し、また、当日は朝から新潟生命歯学部見学ツアーや新潟市内観光の企画もあり、すでに盛り上がった状況での25周年クラス会となりました。一番遠くは鹿児島からの安楽博史君で、全国から総勢39名が参加しました。

記念撮影の後、幹事を務める歯科麻酔全身管理科長の大橋 誠 君の司会進行により物故者を偲び黙祷を捧げ、開会の辞で幕を開けました。

初めにご来賓の中原 泉 理事長・学長先生が大学の現状、変化する周辺の様子について述べられ、大学の充実ぶりに25年の歳月を感じながら和やかな雰囲気スタートしました。続いて5、6年時クラス担任の柴崎浩一先生（内科学、名誉教授）は毎週月曜日の医科病院内科での診療や趣味のゴルフのお話をされ、また、3、4年時クラス担任の村上俊樹先生（生理学、名誉教授）からは趣味の絵画と最近の研究のお話があり、先生が画かれた絵と顎関節症についての冊子が配られるなど、お元気で明るい恩師の先生方も当時のままでした。その後、校友会常務理事の宮川慎二郎先生から校友会の状況と事業についてのお話をいた

だき、乾杯のご発声で開宴となりました。

大橋君と高居欣治君の名司会により、参加者全員の近況報告で盛り上がり、子どもが母校在学の同級生であることが判明したり、また学生時代の思い出話、母校で活躍する教務部副部長の佐藤利英君による日本歯科大学新聞から振り返る卒業当時の状況、総合診療科・准教授の清水公夫君、口腔外科長の水谷太尊君、学会参加中の口腔インプラント科長の廣安一彦君や都合で参加できなかった解剖学2・准教授の横須賀宏之君の話などであっという間に時間は経ってしまいました。母校教授に就任した田中 彰 君、私・岡田、明倫短大教授に就任した木暮ミカさんの3名にお祝いの花束が贈られました。

大橋君のエールに引き続き、「1番から3番まで元気よく〜」全員で校歌斉唱し、代表幹事・岡田の閉会の辞により、卒業30周年を迎える5年後の2020年に再会を誓い、お開きとなりました。

その後、二次会場に移動し、積もる話は深夜まで続いたと聞いています。お疲れさまでした。

この記事を読まれて通知が届かなかった方にはお詫び申し上げますとともに、ぜひ、ご一報いただきますようお願いいたします。次回5年後にお会いできるようご案内いたしますので、ご参加をお待ちしております。

（岡田康男 記）



新潟歯学部第79回卒クラス会 平成27年11月8日 於 新潟グランドホテル